



カマキリの生きかた

つっ い まなぶ しょうがくかん
筒井 学 作 小学館

ススキについたスポンジのようなかたまりから、二百匹の
カマキリが生まれました。兄弟たちはすぐにはなれ、
一匹だけの生活が始まります。カマキリにとって、生きる
ということは、カマでえものをとらえ、食べていくこと。
幼虫は、ハンターとしての一歩をふみ出します。
けれどもカマキリも、クモやトカゲ、鳥などに、いつもねらわれています。ハリガネムシに寄生され、死
んでしまうこともあります。てき
らのがれ、生きのびたカマキリだけ
が、子孫を残すことができるのです。

